



コロナと戦う唯一の方法は「誠実さ」

校長 高瀬 知郎

明けましておめでとうございます。

1月8日の始業日は大雪でしたが、岩中生は遅刻することもなく元気な挨拶とともに3学期をスタートすることができました。しかし、年末のコロナ感染拡大により、冬休み中の部活動や英語の補習授業は中止、冬休み明けすぐの豪雪でいきなり4日間の臨時休業。いまだコロナ収束の兆しは見え、感染拡大のニュースばかり。これから先も、楽しみにしていた学校行事や活動を縮小・中止せざるを得ないことが十分に考えられます。



岩瀬中学校「誠実」の碑(昭和42年設置)

3学期始業式の式辞では、北日本新聞「**天地人**」で紹介されたカミュの小説『ペスト』の内容を引用し、現在のコロナ禍を「**不条理な現実**」と捉えて、その受け止め方、向き合い方について話しました。生徒たちは話を真剣に聞き、それぞれにしっかりと受け止めてくれたようです。3学期も、岩中生への応援をよろしく願います。

【3学期式辞より(抜粋)】

眼前の惨事に対して、ただひたすら「誠実」に向き合う医師としての在り方、そして生き方。これが、「不条理への向き合い方」に対するカミュの答えなのでしょう。このことを私たちに当てはめるとどうなるのでしょうか。一つは「天地人」の筆者が述べるように、私たち一人一人が「感染防止を徹底すること」。それは、今を生きるすべての人が「誠実」に果たすべき責務ですね。では、大人の「職務」に匹敵する「中学生の責務」とは何か？コロナ禍において「中学生の自分が『誠実』に果たすべき責務」とは？

「**誠実**」は、岩瀬中学校の教育目標でもあります。冬休み中、工事中の学校の前庭に再設置された大きな石にも、この言葉が深く刻まれています。昭和42年に設置されてから54年間、みなさんの先輩方を玄関で出迎え、一人一人の心にも深く刻まれたであろう言葉です。

報われる報われないにかかわらず、「誠実」に責務を果たすこと。 たとえ不条理な運命に遭遇しても、「誠実さ」を決して失わないこと。 そのことが、創校以来、私たちの岩瀬中学校が掲げる大きな目標なのです。(全文を岩瀬中学校ホームページに掲載)

2020.12.23

天地人

机の周りに「積ん読」の本が山とある。広げても、つまみ食いならぬ「つまみ読み」が専ら。ばらばらめくり、仕事に使えるような文にだけ目を光らせる。お勧めしにくい読書術である▼ことし、なんとか「完走」できた数少ない本の中にカミュの『ペスト』がある。1940年代、疫病により封鎖されたアルジェリアの都市が舞台。コロナ禍に「予言の書」として読まれた。取次大手の調べでは、文庫の年間ベストセラーランキングで堂々の5位▼約450万部、発表から70年以上がたつ。コロナ関連本はたくさん出たが、さすが古典の底力である。つまみ読みに慣れた身は物語に入り込むまでに時間はかかったが、ページの角を折ったり赤線を引いたりしたところが多々ある▼印象に残るのは主人公、リウー医師の言葉だ。「ペストと戦う唯一の方法は誠実さということだ」。

誠実さとは？「自分の職務を果たすことと心得ています」。リウーは並外れたヒーローではない。眼前の惨事にただ誠実に向き合う。その姿はコロナ禍の最前線にいる医師や看護師の姿に重なる▼第3波の流行が衰えぬなか、日本医師会など9団体が「医療緊急事態宣言」を出した。医療現場の逼迫、疲弊はいかばかりか、思いをめぐらせたい。一人一人がいま一度、感染防止を徹底すること。医療従事者のみなさんへの、「私たちの「誠実さ」だろっ。

1月の学校行事より

書き初め大会

1月8日(金) 始業式の日、書き初め大会を行いました。新しい年を迎え、生徒たちは真剣な表情で、各学年の課題にチャレンジしました。

1年生 白き雷鳥



2年生 将来の夢



3年生 前途有望



2月の主な行事予定 (変更は随時ホームページでお知らせします)

- 1日(月) 交通安全指導
教育相談(~15日)
- 4日(木) 私立高校一般入試 ※3年給食なし
実カテスト(1,2年)
- 9日(火) 県立高校推薦入試
- 11日(木) 建国記念の日
- 12日(金) ノーメディアデー



- 15日(月) 交通安全指導
- 16日(火) 学年末評価(3年) (~17日)
進路懇談会(3年) (~17日)
- 18日(木) 学年末評価(1,2年) (~19日)
避難訓練
- 21日(日) 高専一般入試
- 23日(火) 天皇誕生日
- 24日(水) 実カテスト(3年)

